

下町文化

第 190 号

平成10年1月15日

発行

江東区教育委員会
生涯学習部生涯学習課



「描く」をテーマに

工匠番館展示替

工匠番館（森下文化センター内）は、展示コーナーの一部を変更します。新しい展示は「描く」をテーマに、区内の職人さんのなかで絵柄や表情、文字・紋章など「描く」ことを仕事にしている方々を取りあげます。

江東区の無形文化財保持者のうちで、「描く」という技術を持している職人さんは4人います。登録されている工芸技術の名称でいえば、提燈製作（3名）と人形頭製作（1名）です。ではそれぞれの技術と職人さんをご紹介します。

提燈製作

照明具としての提燈は、江戸時代の中頃から様々なカタチに発展したといわれています。

提燈製作は、提燈そのものを作る工程と提燈に文字や絵柄、紋章などを描き入れる工程の2つに分けられます。それぞれの工程が分業化されていて、一般に江戸（東京）で提燈屋といった場合には、産地から提燈を仕入れて文字や紋章を描き入れる職人のことです。

提燈製作の工程

仕入れた提燈は、竹や金属でつくつ

たホネに紙のカワを張りつけたただけのものです。まず文字・紋章などを入れるカワを突っ張らせます。提燈の内側に竹の突っ張り棒を入れて、提燈をのばし、描く文字・紋章の輪郭を筆で書き入れます。提燈屋が書く文字は江戸時代からつく独特な書体です。

文字や紋章の輪郭を描きおえるとその内側を塗りつぶし、看板提燈・納め提燈は文字の周りを赤く塗ります。文字や模様を描き入れが終わると、亜麻仁の油をひいて日光にさらします。これらの工程が終了すると、提

燈の上下に化粧輪と底輪を取り付け、把手を付けて完成します。



人形頭製作

庶民の間で、桃の節句や端午の節句に人形が飾られるようになったのは江戸時代のことだといわれています。



今日では雛人形などの工程の多くの部分が機械的に行われていますが、以前は人形の各部を職人が分担してつくっていました。

雛人形や五月人形などの頭をつくる職人を人形頭師といいます。頭をかたちづくり、顔を描き入れるまでの工程を担当し、結髪師といわれる人が髪をつけて頭が完成します。

人形頭製作の工程

人形頭は、型をとるのに桐の粉を使うのが伝統的な方法です。出来た原型に目を入れ、胡粉とにかわを練ったものを塗り、つぎに練った胡粉で顔を立体的に仕上げます。この状態で目、鼻、口を小刀で削り、再び胡粉とにかわを練ったものを塗り、練った胡粉で耳を作ります。

顔の表面をさらしで水拭きしたあ

と、目、鼻、口を小刀で整形し、上塗胡粉をゼラチンで溶いたものを数回塗ってさらに小刀で修正します。最後に面相を描き上げます。

職人さん紹介

提燈製作

榎木秀雄さん

大正2年生まれの榎木さんは、子供のころから父幸太郎氏の仕事を手伝いながら技術を習得しました。祖父から3代つづく職人さんです。

提燈製作

杉田礼二さん

杉田さんは昭和4年生まれ。父辰五郎氏について技術を身につけ、しばらくは自身は勤めに出て、そのかたわら家業を手伝ってきました。しかしのちに退職、今日では提燈製作に専念しています。

提燈製作

渋沢昭男さん

昭和23年生まれの渋沢さんは、15才くらいから父茂次氏の仕事を手伝い、技術を習得しました。茂次氏も江東区の無形文化財保持者に認定されていました。

人形頭製作

小島孝司さん

小島さんは昭和31年に荒川区の日暮里で生まれ、18才から修業に入り29才で独立し、今日に至っています。父一男氏は人形結髪師です。

旧大石家 友の会 会会員募集

教育委員会では、旧大石家住宅の保存活動を行う「友の会」の会員を募集します。

旧大石家住宅は江戸時代後期に建てられたといわれる木造住宅で、当時の庶民の生活を偲ばせるたたずまいを今に伝える江東区の指定文化財です。

古い木造住宅は日常の簡単な手入れで、保存状態が大きく違ってきます。活動内容は掃除や囲炉裏で火を炊くことなど難しいことはありません。

活動日は1人週1日で特定の曜日を選択してください。参加を希望される方は、次の要領で申し込んで下さい。

応募方法

所定の申込用紙に、必要事項を記入の上、生涯学習課文化財係まで持参または郵送。

申込用紙の配付場所

旧大石家住宅（南砂5-24仙台堀川公園内）および区役所文化財係募集期間

平成10年1月19日～3月25日

応募資格



友の会の活動風景

区内在住の方に限る。平日（月・金曜日）のいずれか1日の活動に参加可能な方。なお複数日の参加はできません。

活動場所・時間

旧大石家住宅。活動時間は午前9時30分から午後4時30分ですが、都合によって2～3時間の活動になっても構いません。

※応募された方は、4月8日（水）の研修会に出席してください。

問合せ 生涯学習課文化財係

☎ 135 江東区東陽4-11-28

☎ 3647-9111

☎ 3361-2

深川江戸資料館新春特別展

江戸深川の飲食店

— 信仰・行楽の地 —

深川江戸資料館（白河1-3-28）では、1月15日から新春特別展「江戸深川の飲食店―信仰・行楽の地―」を開催します。江戸の発展とともに多くの名所が成立した深川。深川は、信仰・行楽の地として人びとが賑わい、様々な飲食店が繁盛しました。このような江戸深川の姿を是非ご覧ください。

元禄年

間以降、

江戸の発

展につれ

て、「川

向こう」

と呼ばれ

た隅田川

以東の深

川やその

周辺の開

通といっ

た都市と

しての機

能に加え

て、多く

の名所が

成立しま



二軒茶屋雪中遊宴之図（『江戸名所図会』）

これらの名所は、寺社をめぐる信仰とそこで展開された年中行事、さらに風景が良いことなどから生み出されたものであり、江戸市中からも多くの人々が訪れて賑わいました。

今回の特別展では、深川周辺の名所とその周囲に開かれた料理店や名物を浮世絵・写真パネル・地図・古書籍などで紹介します。

【各コーナーの紹介】

(1) 深川の開発と寺町の形成

富岡八幡宮・永代寺の造営、有力寺院の江戸市中からの移転など行楽地としての深川が誕生するようすを紹介します。

(2) 深川とその周辺の名所

江戸で評判となった名所について、深川やその周辺の隅田川沿岸、本所・向島など墨東地域を中心に紹介します。

(3) 名物と名店

江戸市中の料理店の分布、



歌川豊国画 夏の夕 河岸の茶屋

深川周辺の名所周辺に成立した高級料亭や茶見世、さらに名物の食物、料理献立などを紹介します。



歌川広重画 洲崎しほ干狩

会期 1月15日(祝)～25日(日)

会期中は無休です。

時間 午前9時30分～午後5時

入館は4時30分まで

会場 地下レクホール

入場料 大人 300円

小中学生 50円

常設展示分に含みます。

問合先 深川江戸資料館

江東区白河1-3-28

☎ 3630-8625

江東ゆかりの人物(6)

しょうきくさいてんいち
松旭斎天一



白河1丁目靈巖寺墓地にこの人は永遠のねむりにについている。本名牧野八之助。江戸時代から手品、手妻品玉などよばれていた大道芸に奇術の名を冠し、一座を率いてヨーロッパまで興行をうちまわった明治の大マジシャンである。

彼は嘉永5（一八五二）年、越前福井に生れたが、腕白がたたって、幼くして寺の坊主にさせられる。生来、人を驚かせることを好み、常に注目的になることが好きであったという。

長崎で米人の西洋奇術に入門。上海あたりで修業。ようやく名が売れるようになって深川門前仲町で天婦羅屋も開業し、全国を興行した。

のち、「西洋奇術大博士 松旭斎天一大座」を組み、金モールの大礼服、付けひげで世界中を興行。その間に美人で有名な松旭斎天勝を育てあげたり、皇室の方々にも奇術の妙味をおみせしたりした。明治45年、60才で没。

（辻 康信）

おしらせ

古文書解読入門講座

武家文書にみる

江東地域

初めて古文書を読む方のための講座です。今回は、最後の將軍徳川慶喜を出した一橋家などの武家文書から、江東地域との関わりを探ります。古文書の解読を通して、地域の歴史にふれてみませんか。

回	期 日	内 容
1	2月4日(水)	古文書解読概説
2	2月18日(水)	解読実習
3	2月25日(水)	解読実習
4	3月4日(水)	解読実習
5	3月11日(水)	解読実習

時間 午後6時30分～8時30分

会場 教育センター(東陽2-3-6)

定員 70人(申込多数の場合は抽選)

対象 区内在住・在勤の方

(初心者の方に限る)

1月26日は

文化財防火デー

毎年1月26日は文化財防火デーです。昭和24年1月に貴重な文化遺産である法隆寺金堂の壁画が焼失したことを契機に「文化財保護法」が制定され、昭和30年からの日が文化財防火デーに定められました。そして、全国各地で消防演習が行われます。江東区でも26日(月)に城東(香取神社)、27日(火)に深川(東京商船大学内・明治丸)

の両消防署の皆さんによる消防演習が行われる予定です。

区内には、数多くの文化財が残されています。皆さんの周りにも必ずあるはずです。数十年、数百年の長い間伝えられてきた文化遺産を後世に伝えていくためには、私たち一人ひとりが日頃から文化財の保護に気をつけることが大切です。



教材費実費 2500円程度

申込方法 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、

1月22日(必着)までに左記へ申し込んでください。

◇申込先・問合せ

〒135 江東区東陽4-11-28

生涯学習課文化財係まで

☎ 3647-9111

(内) 3362

江東史談会例会

日時 1月26日(月) 午後6時

会場 深川老人福祉センター

参加 自由、会費1000円

連絡先 細田隆善(3641)5780

芭蕉記念館から

新春俳句会

日時 1月27日(火) 午後1時30分

(集合1時15分)

会場 2階研修室

内容 兼題「餅花」1句・新年雑詠

2句、席題なし

対象 区内在住・在勤の方50人

(先着順)

費用 無料。句報の送付をご希望の方は、80円切手貼付宛先明記の封筒

をお持ち下さい。

締切 1月25日(日)

ジュニア俳句教室

日時 2月14日(土) 午前9時30分

(集合9時20分)

会場 2階研修室

内容 俳句をつくってみよう

対象 区内在住の小学生30人

(先着順)

費用 無料(筆記用具持参)

締切 2月13日(金)

申込 いずれも窓口または電話で

◇芭蕉記念館

江東区常盤1-6-3

(3631) 1448

工芸館から

伝統の技 実演公開

毎月第一・第三日曜日に工匠老番館(森下文化センター内)で行って

います職人さんの今後の実演日程は次のとおりです。

2月1日 紋章上絵 石合 信也



2月15日 石工 新川 昇
*時間はいずれも午後1時～3時